

酒

Aブロックにエントリーされた全12作品を公開します。

覇者となったのは果たして誰??

<http://www.columnland.net/> にてごらんください。

酒マミレ

鬼嫁ニ負ケテ

十歳ノ息子ニモ負ケテ

娘ニモ犬ノポチニマデモ負ケテ

アル中ト医者ニ言ワレタ体ヲ持ツ

欲モ希望モ無ク

決シテ嫁ニハ頭モ上ガラズ

イツモ静カニ外デ寝ル

一日ニ、五百円ノ、オ小遣イト

嫁ガ買ツタ焼酎ダケデ生キル

アラユルコトヲ

ジブンヲカンジヨウニ入レズニ

嫁ノ荒使イヲ黙認シ

ヒタスラ焼酎ヲ飲ミ続ケル

自分ノ家ノ庭ノ隅ノ

小サナ家族ニ与エテモラツタ場所ニイテ

東ニ小遣イヲタカル子供アレバ

渋々ヘソクリヲ納メ

西ニ浮氣スル妻アレバ

黙ツテ見ナカツタ事ニシ

南ニ叱ル上司アルナラバ

黙ツテ頭ヲ下ゲ

北ニ公園デ遊ブ子供居レバ

自分ノ子ノ幼少時代ヲ懷カシミ

嫁ゴ立腹ノトキハ図書館ニ逃ゲ込ミ

飯ノ無い時ハゴミ箱ヲアサリ

ミンナニ役立タズト呼バレ

臭イト言ワレ

無視ヲサレル

私ハ居場所ヲ家族ニ与エテ貰エル存在ニ

ワタシハナリタイ

だけ

下戸の建てたる倉もなし

（前略）……つてことさ。「下戸の建てたる倉もなし」ということわざを知ってるかい？あつしに金が無いのは酒に入り浸っているからじゃあないんだよ。だつて見てみなさいよ。

酒を飲ま

い奴

は金が貯

まりそうなのだけでも、

そうかと

いつて

な

いた

飲み代を

蓄えて倉を建てたなんて

話を聞いて

たこと

が

ある

かい？無

い？無

いでし

よ

うよ。

金がない

のも別に酒を飲んでるからじゃあねえっ

つてえこた

ああつ

し

にお

金がない

くでもない話はいから早く今月の家賃

を払え

た。

なに

？そんな

大家さんよ、そうおかたいこと言わない

でよく

っ

て？

まあまあ

あんまりピリピリしてると胃に穴

が開い

れ

よ。

酒も

飲めなくなっちゃうよ。そんなこと

にな

て、

なつ

たらおめ

え、人生を十二割は損するこ

とにな

る

つて

もんだ。

え？穴はも

うとつくのとうに開

いてる

その

原因はお

前にあるだつて？

冗談は顔だけに

してお

ださ

いよ。そ

なつまらないことばかり言ってるから女房に愛想尽かされるんですよ。コンパの席

でのゲームと女房はすぐ飽きるとはいうけれど、いざ無いとなると困るものでしょう

に。

人生何事も我慢が肝心ちゆうことであ。なん

です？お前は酒を我慢しろつ

て？いつからそんな野暮つたい人になっちゃうた

んだい、大家さん。そん

な

な野暮じゃあこ

れから先付き合つて

くれるよう

な相手もいなくな

な

つちまうつ

てもんだ。だから

大家さん、近頃

じゃこの貸

店子も

家もボ

ロくなつて、ま

ともに家賃を払う

もツケが

溜まっ

減つ

ちまったん

だよ。え？最近酒屋に

困る、店子が家賃を払つ

てくれない

と私の生活が厳しいって？ま

あまあ、そう泣きなさんな。大家さんも苦労

してるんですねえ。これは失敬。しかしお悩みのようなら相談に乗りますぜ。とりあ

えず相談は一杯飲みながらにしましょうや。今夜はあつしに奢らせてください：

：

酒とは

酒は百薬の長である

全然飲まない人より、適度に飲む人のほうの平均寿命が長いそうだ

酒は燃料である

車＋バイオエタノール＝走り出す

ほろ酔い＋芋焼酎＝走り出す

酒は社会の潤滑油である

人間関係を構築していくのにかかせないものである

酒は悪夢である

二日酔いはかなりつらい

回避方法はマ－ライオン化とウコンの力

あなたにとって酒とはなんですか？

やっぱりビールはアサヒっしょー

皆さんはまだ二十歳未満でお酒が飲めないということなので、本日は私が、自分がまだ二十歳ではないということには目をつむっていただいて、酒飲みへの道のお教えしたいと思います。

初級編…………ふられたコールは断るな！

これさえ守れば、飲み会で、気まずい空気であいたたたつて……にはまずならないでしょう。

中級編…………ゲロは自分で処理をしろ！

やはり気持ち悪くなったら、オロロロとトイレで剣心の口癖を言うような感じで吐きましょ。

上級編…………記憶がなくなるまで飲め！

記憶が無い時なら責任能力がないとかかんとかで何をしてもオールOK！法律なんてクソくらえっ！これぞまさしく無我の境地ってやつだね。

さて私がお教えできるのはここまでですが、皆さんが酒を飲みまくってあげばいつの日か、

『無我の境地の先にはさらに3つの扉があったばい！』

とかなるかもしれないので、ここから先は自分で切り開いていってください。それでは最後に一言、

景品はアサヒの糖質0がいいです！

今日は一年ぶりに彼女と再会の日。二つ年上の彼女は一年前、海外留学のため日本をたった。そう、僕たちは俗にいう遠距離恋愛をしていた。

この一年間、僕は不安で仕方がなかった。彼女は向こうで魅力的な男と出会い、僕に対する想いが薄れてしまうのではないか。もちろん彼女だけではない。僕自身も、月日の流れが、彼女への想いを薄れてさせてしまうのではないかという不安もあった。

僕は何度向こうへ行きたいと思っただろうか。何度、唇を噛み締めて我慢しただろうか。彼女とただ普通に話がしたかった。したくてたまらなかった。そして今日、やっと、やっと会える。

この日、彼女とは空港近くのレストランで待ち合わせをした。僕がレストランについて一時間。彼女は今から一時間後にここに来る予定だ。緊張しているものの顔でいられない。一時間・・・一年間のなんとか分の一。

物静かな彼女が緊張した様子でレストランに入ってくるのが見えた。今まで涼しかったその部屋だが、彼女が一步、また一步近づく度に、心が、目頭が、熱くなってくる。お互い緊張して、言葉を交わすこともなく席につき、シャンパンの入ったグラスを手を取った。

一年分の思い。会いたくて、会いたくて仕方がなかった。

「カンパイ」

僕がそう言った瞬間、彼女の眼から涙が落ちた。グラスで顔を隠してるけど、一年ぶりの彼女の笑顔には
一年分の寂しさを形にした涙が流れていた

二人向かい合って飲むシャンパンは、ほろ苦く、苦しみを乗り越えた後に飲むにふさわしい、大人の味がした。

さらばコアラランド

「もうこの家はだめだ。水がこっちにも来る」僕の足下に海水がなだれ込む。「すべては済んだことなんだ」僕は、目をつむった。

隣のコアラは、土嚢を積み上げている。「まだ終わってねえ。終わってねえんだよ」汗とも涙ともつかないものが彼の頬を伝う。

「おおい。早くしろ。船の準備は出来たぞー」

潮の匂いが島を覆う。そのとき丘の上では、ひととき大きな波が見えた。

すべては決まったことだった。引いた潮がまた満ちるように。一つの島にたくさんのコアラがいていいはずがない。僕たちは離ればなれにならないといけない。すべてをみんなは知っていて、その時は、もうすぐそこまで来ている。

「俺はここに残る」隣のコアラは言った。

彼の顔はすがすがしく、僕は何も言い返せなかった。

「もうすぐ船が出るぞー」

毎日がパーティーだった。僕たちはいろんなお酒を飲んだ。好きだったコアラ、仲良くなったコアラ、よく知らないコアラ……、海水に浮かんで消えた。僕たちは酔っ払ってしまった。この島は、居心地はいいけれど、酔いからさめなければいけない。

僕は隣のコアラから離れられなかった。いくらか時間が過ぎた。船はもう出て行ったかもしれない。海水は、もう口の高さになった。その時、地が切り裂けるような爆音が響き、あたりは真っ暗になる。

目をあけると、隣のコアラがいた。そこはコアラキングダムだった。

では早速ランキングにいきましょう。

注目の第三位！

敬省略

さて堂々の第一位は！！！！

柿
ビ
ー

コリコリと心地よい歯ごたえ、噛めば噛むほど広がるピーナッツの味わい。そして、の中に際立つ柿の種の辛さ。あゝビールが欲しい、本当にビールが欲しい。昼からビールが飲みたいな。ビールがイイナ。

それはさておき、柿ピーの歌をつくりました。それでは、どうぞ。

柿ピーのうた (sex machinegunsのみかんのうたに合わせて)

おつまみ色々あるけれど　おいしいおつまみ一つだけ

おいしいおつまみ食べるなら 柿ピー残らず噛みしめろくろく!!

豆を捨てる奴がいる！ 豆を捨ててはいけないぜ！ 風呂に入れてはいれば

るるるる
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
♪

歌の途中だけど、豆（ピーナツ）を食わない論外な奴が多いんだよね。柿ピーのこと分かってないよね。お薦めとしては豆一個あたり種二個ぐらいのペースで食べるとおいしいよ。

心がなごめば 世界は一つ 世界にはばたけ おいしい柿ピー

柿ピロニ
柿ピロニ
柿ピロニ
柿ピロニ
柿ピロニ
柿ピロニ
柿ピロニ

本当に柿ピーを考えた人は偉いと思う。こんな世紀の発明なかなかない。きつと柿ピーは世界を救う！愛が世界を救うなら、柿ピーだって世界を救う！！！！

カシヲオレンジ

「みい先輩が俺の隣に来た。手にはカシヲオレンジのグラス。先輩のお気に入りだ。」

「今は、俺のお気に入りでもある。」

「きやははははー。みんな飲んでー？」

「先輩、酔いすぎですよ。まだ始まってからそんなに経ってないのに」

「んー？これぐらい全然大丈夫だよー？」

「この上なく説得力がない。」

「その頬の赤さで、何が大丈夫なものか。」

「口調もいつになく、はっちゃけてるし。」

「それでそれでー？先輩諸君はなんの話をしていたのかなー？」

「俺の好きな人の話をさせられてました、と心の中だけで返事する。」

「……そりゃ、本人の目の前じゃ、ね。」

「みい先輩！こいつ、みい先輩のことが好きなんだそうですよ？」

「いきなりバラされる。」

「じつと俺を見つめる先輩。」

「……あつくん。もしかしてシラフですかー？」

「答える時間は、もらえなかった。」

先輩に

押し倒され

キスされて

口移しで

飲まされた。

「ダメだぞーシラフでそんなこと言っちゃー。本気にしちゃうぞー？ほれー、もっと飲めー」

「……えーい、もうどうにでもなれ。」

「先輩の手からグラスを奪い取り、一気に飲み干す。」

「俺、みい先輩が好きです！本気で、好きです！」

「……………ホント？ホントにあたしでいいの？」

「ん？あれ？」

「俺の首に手を絡め、しな垂れる先輩。」

「後で、あの時酔ってたからアレはなし、とか、絶対ダメだからね？」

「……あの、先輩？まさか、酔ってない？」

「……………うん」

「顔、ずっと赤かったですよ？」

「それは、だって、ホントはこの後、あつくんに告白しようと思って……」

「恥ずかしがりながら呟く先輩。」

「そしたら、なんかもうそのことしか考えられなくなっちゃって……」

「近づいてくる先輩の小さな顔。」

「でも、今赤いのは、あつくんが好きって言ってくれたからだよ？」

「あつくん……大好き」

ちょっと飲み過ぎたかもしれない。

だがなんだがとても気分が良い。

こんな最高の気分を抑えておくことなど出来ない。

とりあえず外に出てスーツを脱ぎ捨て、ネクタイを取り払い、右手で振り回しながら「アチョー！！！！」と大声を上げ道を駆け抜ける。

通行人が驚いた様子でこちらを見てくるが全く気にならない。

そのまま走っていると公園があつたので突入する。

公園で遊ぶ子供達やママさんには目もくれず、まずは砂場に駆け入る。

ヘッドスライディングを見事に決め、その後横になったまま砂場を転がる。

子供達が作ったであろう小さな砂山もあつたが、俺のスパイラルはそんなチャチなものでは止められるはずがない。

イヤアーツハハアハアハハなどと奇声を上げながら砂場を荒らしてみたが、俺の気分はまだまだ収まらない。

さらにYシャツを脱ぎ捨て、上半身を昼の日差しに晒しながら次の目標を滑り台に定める。

滑り台を逆から駆け上がり、上まで上った所で頭に巻いておいたネクタイを取り両手で掲げ、

「僕は新世界の神になる！！」

と叫んだ。

決まった……。

一瞬の静寂の後、ふと我に返り周りを見回す。

涙を浮かべ呆然と立ち尽くす子供達。

軽蔑の目を向けながら子供を抱きかかえるママさん達。

中年太りの醜態を晒しながら、滑り台の頂上で両手両足を広げて立つ俺。会社を首になりやけになって朝から飲んでいた俺。

俺は泣いた。

酒を飲みに行くまでの思考回路

社会生活

疲れやすい…

痛快！

嫌なことだらけ…

いいことだらけ！

結果が出ない…

結果オーライ！

言いなりはもう嫌！

言い尽くせない幸せ！

やり場のない鬱…

盛大なパーティー、

つかの間の休息、

行く？

9時にいつもの飲み屋へ。

平日だけどへっちゃらさ！

酒が飲めるぜ！

酒を飲んだ翌日の思考回路

絶不調の二日酔いという波乱。

注意事項

お酒を飲む前の注意

乳酸系の飲み物 ヤク●ト 84円

乳酸系の食べ物 6●チーズ 330円

健康な体 *priceless*

お酒を飲むときの注意

イツキをしすぎない。

トイレに行くついでに外の空気を吸う。

酔っぱらっても記憶を失わない。

お酒を飲んだ後注意

水をたくさん飲む。

重要 「謝罪のメールを速やかに送る。」

二十歳の誕生日、
初めての酒は
親父と飲んだ。

サークルの飲み会で、
調子に乗って
ハチ公にまたがって
お巡りさんに怒られた。

大学留年が決定した夜、
先輩と朝まで自棄酒した。

なんとか就職が決まった日、
普段は飲まない母さんが
自分から酒を飲んだ。

昇進が決まったあの日、
お洒落なバーで
彼女にプロポーズした。

誠が生まれた夜、
お義父さんと飲んだビールは
最高においしかった。

転職を悩んでいた時、
親友は酒を飲みながら
一晩中相談に乗ってくれた

転職が決まった日、
誠がパパ頑張ってねと言って
ビールを注いでくれた。
おいしかった。

誠が飲酒で高校を
停学した。
一応叱った。

父が亡くなった。
墓前で、父の好きな
日本酒を飲んだ。

二十回目の結婚記念日、
結婚した時に買ったワインを開けて
妻と二人で静かに祝った。

孫が生まれたという
知らせが入った時、

誠が二十歳になった日、
行きつけの居酒屋に
誠を連れて行った。
しみじみと嬉しかった。

一人夜空を見上げながら、
酒を飲んで孫の将来を祈った。

孫と酒が飲める日を楽しみに
していたのに、入院を機に
医者から禁酒を宣告された。

人生最後の日、妻と息子と別れの酒を飲んだ。
人生の味がした、気がした。

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	酒マミレ	4 pt	7 位	0 sp
		カタカナって読みにくいから読むスピードが落ちて、そのぶん、ひとつひとつのフレーズがしっかり心に刺さってくる。そんな体験をさせてくれる表紙でした。 お父さん、たいへんですね。理想型を語った元の詩を、現実を語ったカタチに変換したことで、哀愁しみじみ、みじめさ全開。そうした「空気」の変換もおみごとでした。 イチオシフレーズ：「娘ニモ犬ノボチニマデモ負ケテ」		
A02	下戸の建てたる倉もなし	1 pt	10 位	9 sp
		たらたらと語っている、ぼやき混じりの落語トークの口調が、「酒」という一文字をレイアウトにはめこんだことで、思わぬメリハリが付いて、びっくり。 これも、A 1と同じように、空白を通過する間に読むスピードが減速するのが、いい効果ですね。読みやすさの追求だけが文章道ではないと教えられます。 もちろん、この「酒」透かしは、しゃべっている店子さん御自身がほろ酔い状態であることの暗示でもあるのでしょう。 まさにワザアリ！ でした。もうぶっちぎりの最多特別賞です、おめでとう!! 特別賞：遠くから見ま賞(見えるとうれしい)/頑張った賞(レイアウトよくがんばった)/Idea賞(いや、とにかくすごいよ??)/努力賞(がんばってる。酒の形がみごと)/読みにくい賞(文章がうまいのに読みづらい)/あなたはもしかして暇で賞?(ズバリ、すんげえ、こってるからです!!)/がんばったで賞×3(てまがかかっていて良い。ユニーク。すごい、大変だったのでは)		
A03	酒とは	5 pt	6 位	1 sp
		酒とは* *である。さくりさくりとフレーズを投げ込んでくる感じでした。 酒の4段活用といった趣で、構成も定義+ネタとすっきりしています。 特別賞：マーライオン賞(あのいきおいでされたら、この上なく気持ち悪い、いや本当に。) イチオシフレーズ：「ほろ酔い+芋焼酎=走り出す」×3 「マーライオン化」で、フレーズのインパクトが評価され、今週のイチオシフレーズ大賞ゲットです、おめでとう！		
A04	やっぱビールはアサヒっしょ！	4 pt	7 位	0 sp
		初級・中級・上級とある先に、さらに「3つの扉があったばい！」という趣向が楽しかったです。この1行にこめられた哲学が燦然と輝いてました。そう、道は自分で切り開くもの。 ただし、景品の指定はできませんので、御了承ください。楽屋オチ禁止令違反です。 イチオシフレーズ：「ふられたコールは断るな！」		
A05	涙	8 pt	3 位	0 sp
		後半、せつなさ全開、きゅんとなります。ただ、そこへ持ってゆく前半が少しぎこちない。彼女の服装とか、何か具体的な光景を見せると、ぐっとシーンに引き込まれるのですが。海外ってどこ？ 空港はどこ？ と場所性を付与するのも一案かも。 緊張しきって無言で向かい合う、セリフは「カンパイ」のひとことだけ、流れる涙。ほんとに純粋な光景ですよ。そんなピュアな気持ちをきちんとフロアに受けとめてもらえてのコアラゲット、おめでとう！ イチオシフレーズ：「一年間のなんとか分の一」「カンパイ」		
		4 pt	7 位	1 sp

A06	さらばコアラランド	土嚢を積み上げているコアラ、そのけなげさにほろり。わざと危険地帯に迫りつつ、ウチワネタ・コードをギリギリ回避した操船術の巧みさに唖然。そして、コアラ君がもしだす不思議なおかしみに拍手。 船は出てしまうけれど、またお目にかかりましょう、キングダムで。 特別賞：グレーゾーン賞（っていうかアウト気味です） イチオシフレーズ：「コアラキングダム」
A07	走る王様、女王様	7 pt4 位0 sp ハイテンション。かなりムダにハイテンション。そのムダさ加減が、柿ピーという、とってもちっぽけなモノを大げさに奉っちゃうスタンスときれいにシンクロして、おいしくいただきました。
A08	カシスオレンジ	7 pt4 位2 sp わあい、ツンデレ・リスカちゃん。 ぶじに「大好き」まで漕ぎ着けられたので、ぜひ愛のセッションでは、その先の熱い熱い展開を(リクエスト)。 特別賞：エロマンガ賞(委員長の高校時代の部室にあったエロマンガの展開は全部こんな感じだったから)/あまいで賞(はずかしくなっちゃいます!!) イチオシフレーズ：「あっくん」
A09	無題(僕は新世界の神になる!!)	14 pt2 位1 sp 加速して加速して、僕は新世界の神になる！ イチャッテル感がしっかり出てました。 ラスト、何も現実に戻さなくても、と思ったのですがいかがでしょう。きゅーっとしぼんでしまうのはもったいない。それくらいに、はっちゃけた痛快ネクタイ男でした。コアラ君とともにおしあわせに。 特別賞：悲しいで賞(泣ける。かわいそう) イチオシフレーズ：「僕は新世界の神になる!!」
A10	酒を飲みに行くまでの思考回路	0 pt11 位0 sp 人生、どちらに転んでも、そう変わりはないのさ。そんな哲学を秘めてチャート式というアイディアが効いていました。 せっかくなので、もっと複雑な構造にトライしてもおもしろかったのでは。
A11	注意事項	0 pt11 位0 sp 前・中・後、3段階揃えてコンパクトに。ラスト1行を際立たせたかったのかな、と察するのですが、パーツがバラバラな感じなので、流れをつくる工夫を。 イチオシフレーズ：「謝罪のメールを速やかに送る」
A12	酒と人生	33 pt1 位1 sp 人生の節目節目に酒ありき。文字の大きさが思い出の輝きの大きさでしょうか。スライドショーのようにぱっぱっと人生回顧を見せたワザがおみごとでした。 レギュラー落ちしてセツパつまって、単位getのために書いた彼。火事場の何とやらというか、突如こんなグレート作品が生み出されちゃうんだから、単位というプレッシャーの存在も時には悪くないのかも、と単位発行元としては思ったことでした。圧勝首位、おめでとう!!! 特別賞：レイアウト賞(美しい...) イチオシフレーズ：「一応叱った」「人生の味がした、気がした」×2

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	ワにようこそ	4 pt ウンチク表紙のデビューです。いきなりワインのお勉強で得した気分。色・香り・味と項目立てして手際よくまとめて、正統派修業、着々進行中のようす。 中央を占める香りパートがちと弱かったかと思います。ここでたとえば気障なソムリエさんにちらりと登場していただくと、より馥郁（ふくいく）と語れたのでは？ 愛についても、こんなタメになる話をお願い！（プレッシャー） 特別賞：猪飼賞(よく調べたコラムらしいコラムだから)	8 位	1 sp
B02	2006年11月16日(木)	0 pt 「どうも僕です」の飄々たるノンキさが身上。楽しい酒擬人化でした。 おなじみのゲーム画面が、ぼっこり酒の顔に入れ替わっているところがおもしろさですが、じゃあ、エリザベスをかっさらったにつっきボージョレはどこへ？ とナンセンスなりにお話の決着も付けていただけるとより良かったのでは。 イチオシフレーズ：「やせいのボージョレヌーボーが現れた」	11 位	0 sp
B03	今日は七夕、明日は休み♪	0 pt タイトルから察するに実話と見た！ 4杯目で潰れたな？ うん、たしかに飲みやすい分、サワー系はキケン。ワインやカクテルや吟醸酒もキケン。ご用心召されませ。 ノリよく分かりやすく、たいせつな教訓をお伝えいただきました。おだいじに。 特別賞：これがあやしいで賞(班員がレギュラーでこれを書いていそうだった) イチオシフレーズ：「今日は七夕、明日は休み♪」	11 位	1 sp
B04	願わくは花の下にて	12 pt さらさらと風に舞う悲しみ。桜月夜にひそひそと嬰兒の骨粉を埋める。 幻想的な道具立てで、夫婦のドラマをしっかり見せていただきました。妻を悲しみの淵から何とか救い出そうとする夫のいちずさがせつないです。 しかし、このぎっしりみっしり、文字数の限界に挑戦か？ という作品をしっかりと読んで、しっかり評価したフロアはほんとエライ。そうとうに読む力が上がったな、と思わせる一幕でした。チキンラーメンゲット、おめでとう。 特別賞：力作賞(いい作品です) / 長い賞(長くて読みづらいけど情景がきれいだった) イチオシフレーズ：「ウィスキーはね、命の水っていうんだよ」	3 位	2 sp
B05	2007年7月もの	7 pt ワインの○○年もの、に引っかけたタイトルが秀逸です。 魔法のピン、正体は流れた悲しみ。ストーリーがていねいに組み立てられて、何よりコンセプトのユニークさが良かったのですが、涙を飲む、というのが、どうもね、そぐわない感じ。 ひとつぶの涙が落ちると中の液体が輝きを増して……のようなキレイな展開にしたら良かったのでは？	5 位	0 sp
B06	Andrew, the ECCENTRIC Bird!!!	17 pt お久しぶりです、哲学する文鳥さん。 一気飲みは宗教儀式である——論理的に考察しているようでいて、しっかり的是はずしているこの桜文鳥を我々は笑えるだろうか？ けっきょく、我々自身の世界観も、アンドレ並みの的はずれでこじつけなものではないのか、などと、好物のコラムをついばみながら思慮に耽りました。 特別賞：続編やっちゃった賞（続編作ったことと、Andrewの間違った考えがおもしろい） イチオシフレーズ：「For the sake of SAKE」「お早う諸君」	2 位	1 sp
B07	酒に関するまめ知識	4 pt 「弱い人」パートのあとに「強い人」パートをくっつけたところがアイディアでした。 ストローか、なるほど。でも、酒席の雰囲気出ないなあ。 ラストのウンチク、一個だけだとさびしいので、たとえば4つ集めて4周を囲ってレイアウト力を発揮したりすると、ぐっとグレイドアップするのでは。 特別賞：参考になったで賞/キャベジンで賞(勉強になりました!!)	8 位	2 sp
		5 pt	7 位	5 sp

B08	Liverside	レバーサイド。肝臓くんのせつないラヴ・ソング。いやはや、手が込みまくりですね。謎が解ければ、なるほどなるほど、とあちこちするするほどけてきます。うまいなあ。 この順位は、ちょっとフロアが若すぎたせいなのでは。カンコーヘンにおびえる、おぢさんたちが読者だと、もっとウケたと思いますよ、うん。最多特別賞&イチオシフリーズ大賞のダブル受賞です、おめでとう!! 特別賞：意味不賞(意味がよく分からなかった)/わかりにくいけど深いで賞/なるほどね!賞(わかったときの感動が大きい!)/肝硬変賞(わかったらおもしろい、意外に深い)/歌賞(作るのむずかしいだろうから) イチオシフリーズ：「編曲：L・コーヘン」×3、「朝賀英里」、「だからI'm quiet.」
B09	最後の一杯	12 pt 3 位 1 sp 山男の友情のカタチ。その熱さとともに、構成の巧みさが光ります。現状+過去+未来へ、と3パートで構成して、開いた(=解釈が読者にゆだねられた)ラストへ。じつはけっこう忙しく時間を行き来しているのに、ちっともせわしない感じがしません。一人称の視点がブレない上に、ていねいに選び抜かれた言葉で自然につながられているおかげかと。 ラスト、ハッピーエンドに一票。 でもって作者は、やっぱり山男さんでしたね。チキンラーメン、登山のお供にどうぞ。 特別賞：わかりやすいで賞(ふつーでしょう)
B10	ひよみのとりの目に涙	19 pt 1 位 0 sp 「ひよみのとり」って酒の隠語なんだってさ、と広辞苑さん。ひよみて暦のことね、なんて小学生はおるか、大学生でも知りそうにないけど。 赤いトサカ付きの鳥(むしろ鶏)vsなぜか鈍色の飛べない酉。そんな漢字対決を話のフレームワークにして、ナマイキの小学生どもに黄色いくちばしをはさませつつ賑やかなナンセンストーク。 よくわかんないけど、何か引っかかる、個性的だね、と思ってもらえれば勝ち! という作者さんの狙いなのでしょうね。成功してると思います。 敢えて、まとまりや結論を求めない、でも書き散らしただけではない文章。この場にあって、じゅうぶん個性派でした。 それにしてもチキンラーメン杯の首位をさらうとは! たぶんこの作品、5月くらいに出たら、なんだろこれ?? と中間くらいの順位だったのでは。そのおもしろさをしっかり受け止めて評価してきたフロアの力量の向上ぶりともども、価値ある栄冠にブラボー! イチオシフリーズ：「それは欺瞞です!」
B11	War	7 pt 5 位 1 sp 戦争映画の1シーンのような。B9と同じく極限状況に置かれたがゆえに際立つ友情の熱さ。酔いが加速する人生への未練・執着、万感の思い。しっかり感じさせていただきました。 ラスト2行がやや唐突か。じつは「俺」も幽霊だったり?? 特別賞：賞チュー(一発で) イチオシフリーズ：「...カールと...ロベルトだ」「.....生きるよ」
B12	飼う	3 pt 10 位 1 sp 熟年おじさんが、いきなり「おかしくね」と2ちゃん語を話し出しちゃうあたりが、ややツメが甘かったか。 でも、人を飼う、それもおじさんを、と状況の妙ちくりん加減、なかなかぶっ飛んで楽しめました。 人生こんなに身軽だといいなあ、とほろ酔い気分の今週の読み納めです。 特別賞：犬賞(あり得なすぎる展開がよい。おもしろさが光った) イチオシフリーズ：「鮮やかなまでの加齢臭」